

湧別中 学校だより



ハマナシ

令和4年度 重点目標(めざす生徒像)

仲間とともに学び合い、課題を解決する生徒の育成

湧別中学校教育目標

『未来に向かい、心豊かにたくましく自立する生徒』

- ① 自ら学び考え、進んで発信する生徒
- ② 心豊かで思いやりのある生徒
- ③ 積極的に活動し、粘り強くやりぬく生徒
- ④ 生命を尊び、健康でたくましい生徒

令和4年5月18日発行 文責 校長 杉山英司

ICT の時代だからこそ

今からもう10年近く前の話題ですがぜひ保護者の皆さまに目を通していただきたい記事です。

アメリカで13歳の息子グレゴリー君のクリスマスプレゼントにiPhoneを贈った母ジャーネルさんが書いた、厳しくも愛にあふれた契約書「18の約束」。アメリカ国内でも反響の大きかったというこの「母と息子のスマートフォンに関する契約書」の内容は携スマホの使い方だけではなく、人生についての教訓まで含まれていました。

以下要約して載せます。

大切なグレゴリーへ。メリークリスマス！

あなたはこれからiPhoneを持つことができます。でもこのプレゼントを受け取るにはルールや規則が伴います。あなたがテクノロジーに振り回されることなく、うまく活用できる大人になるために、健康でしっかりとした青年に育てることが私の役目であることを分かってくれることを願います。

1. これは私の携帯です。私が購入し支払います。あなたに貸しているのです。
2. パスワードは私が常に把握します。
3. これは「電話」です。鳴ったら出ること。「もしもし こんにちは」と礼儀正しく言いなさい。もし画面に“ママ”や“パパ”と出たら、無視することなく必ず出なさい。
4. 学校がある日は夜の7時30分に、毎週末は夜9時に親のどちらかに電話を預けなさい。友達の親が直接出る固定電話に電話できないような相手ならそんな友達とは電話もメールもしてはいけません。
5. 携帯電話は学校に持って行ってはいけません。メールのやり取りをする子とは直接会話をしなさい。会話をすることは人生のスキルです。
6. 携帯電話がトイレや床に落ちたり、破損したりした場合の修理費用はあなたの責任です。芝刈り・ベビーシッター・お誕生日のお祝いのお金などであなたに払ってもらいます。こういうことは起こります。準備しておいたほうがいいわよ。
7. テクノロジーをほかの人に嘘をついたり馬鹿にしたりするために使わないこと。ほかの人を傷つけるような会話には関わらないこと。
8. 面と向かって言えないようなことは携帯電話を通してメールやテキストメールを送らないこと。
9. 友達の親がいる前で言えないようなことは携帯電話を通してメールやテキストメールを送らないこと。
10. ポルノは禁止。私とオープンに共有できる情報をウェブで検索してください。何か質問したいことがあれば人に尋ねなさい。なるべく私かパパに聞いてね。
11. 公の場では電源を切るかマナーモードに設定すること。特にレストランや映画館。ほかの人と話している時は気を使ってください。あなたは失礼なことをしない子です。iPhoneを持っても変わらないでください。
12. ほかの人にあなたの大事な部分の写真やほかの人の大事な部分の写真を送ったり受け取ったりしないこと。笑わないで。あなたがいくら賢くても、そういうことをしたくなる時期がやってきます。悪い考

えです。インターネットはあなたよりも、非常に巨大で強力なのです。これほどの規模を消すのは難しいし、風評を消すのも難しいのよ。

13. 膨大な数の写真やビデオを撮らないこと。すべてを記録する必要はありません。自分自身の体験を大切に。そうした体験は永遠に残るものよ。
14. 時々家に携帯を置いていきなさい。そしてその選択に自信を持ちなさい。携帯電話は生き物でもないし、あなたの一部でもありません。携帯電話なしでも暮らしていけることを覚えてください。取り残されることを恐れるのではなく、流行に流されない器の大きい人間になりなさい。
15. 新しい音楽やクラシックなど色んな曲をダウンロードしなさい。あなたの仲間が聴いている音楽だけでなく様々な曲を聴きなさい。あなたの世代は史上もっとも音楽にアクセスできる世代なのよ。この利点を活用して視野を広げなさい。
16. ワードゲームやパズル、知能ゲームで時々遊びなさい。
17. 上を向いて歩きなさい。あなたの周囲の世界に目を向けなさい。窓を眺めたり、鳥のさえずりをきいたり散歩したり、知らない人と会話してみてください。グーグルで検索せずに思考しなさい。
18. あなたは約束を守れないかもしれません。その時私はあなたの携帯電話を没収します。その時は話し合いをしましょう。もう一度初めからやり直します。あなたと私は常に学んでいるのです。私とあなたはチームメイトなのです。一緒に答えを出していきましょう

この18の約束を見てどうお考えになったでしょうか？

私には2人の息子がいますが、携帯やスマホは小中学生には必要ないと思っていて、長男には高校合格後に持たせ、次男は中3なので持たせていません。もちろん、持たせるか持たせないは「ご家庭の判断」です。大事なことは持たせると決めたとき、持たせる親としての責任が伴うということです。

過去に勤めた学校で多かった事例に「先生、うちの子がグループラインで嫌なことを言われているんです」「グループからブロックされて、学校に行きたくないと言っているんです」もっとひどい時には「警察が介入」した案件もありました（これらの事例のほとんどで「子どもがこんなふうに使っていたなんて知らなかった」と保護者は言います）。学校から帰った後のことであり、家庭生活(学校外)で起きたトラブルの処理を学校で引き受けざるを得ないことがあり、学校現場は疲弊している現状もあるのです。ほかにも SNS での誹謗中傷で裁判になる例や写真の位置情報や場所が特定できる写真をアップしてストーカー被害に遭ったなどの被害も多く報道されています。

Society5.0の時代。学校現場は GIGA スクール構想で一人一台端末が当たり前前の時代です。これからはスマホなどの端末が必須となる高度情報化の世の中となります。大切なことは「大人がしっかり見守り、正しく使うことができるよう育てる」ことではないでしょうか。子どもたちに正しいネットリテラシー（インターネットの情報や事象を正しく理解し、それを適切に判断、運用できる能力）を身につけさせることが学校、そして家庭で果たすべき責任と考えます。学校では授業を通して「正しく、正確な ICT リテラシー」という基本装備を身につけさせ、予測不能な未来社会に送り出したいと考えます。

学校にも社会にも「ルール」が存在します。ことスマホなどの端末に関してはそのルールは家庭にゆだねられます。メッセージのやり取り、ウェブアクセスの内容など、親子で共有できているのでしょうか。買ってもらった生徒の皆さんは「自分のもの。何が悪い」といった、自己中心的で無責任な考え方になってはいないでしょうか？使わせてもらっていることへの感謝の気持ち、ものを大切に使うこと、使う意味…ぜひ親子で読んでいただき、一緒に考えてほしいと思います。

「安心・安全」という言葉があります。持たせている親は「安心」かもしれませんが、何のルールもなしに持っている子どもは決して「安全」ではないことを心に留め置く必要があると思います。

*活字ばかりで本当にすみません